

2025年4月1日

～山崎福也選手と小児がんに関する啓発活動を推進～ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントと パートナーシップ契約を締結

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏、以下「アフラック」）は、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント（代表取締役社長：小村 勝）とパートナーシップ契約を締結し、北海道日本ハムファイターズの山崎 福也（やまさき さちや）選手とともに小児がんに関するさまざまな啓発活動を推進していくこととなりましたのでお知らせします。



本契約は、小児脳腫瘍に罹患した経験のある山崎 福也（やまさき さちや）選手とともに、症例が少ないために治療研究が進まないことや、晩期合併症を抱えながらその後の生活を送らなければならないことなど、成人のがんとは異なる課題がある小児がんについて正しい理解を社会に呼びかけ、小児がんの子どもたちへの支援を広げていくことを目的としています。

当社では、2006年から企業としてはじめて小児がんへの支援を目的とした「ゴールドリボン運動」に賛同しています。4月25日は「小児がんゴールドリボンの日」（4：しょう、2：にがん、5：ゴールドリボン）と制定されていることから、当社は4月をゴールドリボン推進月間として、小児がんの子どもたちへの理解と支援の呼びかけを強化しています。この一環として、4月5日に開催されるプロ野球公式戦「北海道日本ハムファイターズ vs オリックス・バファローズ」において、「アフラックゴールドリボンデー」を開催します。本イベントでは、北海道大学病院を通じて招待した小児がんの子どもたちとそのご家族による始球式のほか、山崎選手からのメッセージ動画の放映や「ゴールドリボン

ダック」の抽選プレゼントも実施します。

また、4月19日に東京で開催する「ゴールドリボンウオーキング 2025（東京・お台場 シンボルプロムナード公園 セントラル広場）」でも、小児がんの子どもたちを応援する山崎選手のメッセージを放映します。さらに、シーズンオフには、アフラックペアレンツハウスや小児がん診療病院なども訪問する予定です。

当社は「がんに苦しむ人々を経済的な苦難から救いたい」という想いのもと、1974年に日本で初めてがん保険を提供する保険会社として創業して以来、「がん保険のパイオニア」として、最も長くがん向き合い、多くのがんと闘う方々を応援してきました。

当社はこれからも、小児がんをはじめ、がんを経験された方が自分らしく安心して生きていける社会の実現を目指して、社会と共有できる新たな価値を創造することで、ステークホルダーの皆様からの負託と信頼に応えていきます。

■アフラックゴールドリボンデーの概要

【対象試合】

開催日時：2025年4月5日（土） 14：00 試合開始

対戦カード：北海道日本ハムファイターズ VS オリックス・バファローズ

開催場所：エスコンフィールド HOKKAIDO

<https://www.hkdballpark.com/access/>

■ゴールドリボンウオーキングの概要

開催日時：2025年4月19日（土） 10：00～13:30 終了（予定）雨天決行

開催場所：お台場・シンボルプロムナード公園 セントラル広場および その周辺

<https://gold-ribbon.jp/>

■山崎福也選手（18 投手） プロフィール

生年月日：1992年9月9日（32歳）

身長／体重：188cm／99kg

出身地：埼玉県

投打：左投げ／左打ち

経歴：日大三高-明治大-オリックス(ドラフト1位・15～23)-北海道日本ハム(24～)

<小児脳腫瘍の闘病経験について>

2007年11月高校進学前の検査で「小児脳腫瘍」が判明。翌2008年に北海道大学病院で腫瘍全摘出手術をうけ、不屈の精神で1週間後退院。プロ入団後も毎年オフシーズンには検査を受診している。

■当社の小児がん支援に関する活動について

アフラックは、小児がん経験者が笑顔で暮らせる社会を目指し、以下の活動を展開しています。

活動名	概要
アフラック ペアレンツハウス	<p>小児がんなどの難病のため、自宅から離れた病院で治療を受ける子どもとご家族が1人1泊1,000円（患儿は無料）で宿泊できる施設です。亀戸、浅草橋、大阪の3棟でこれまで延べ14万人以上の方々にご利用いただいています。</p> 
アフラック 小児がん経験者・ がん遺児奨学金制度	<p>親をがんで亡くした高校生や小児がんを経験した高校生を対象とした返還不要の奨学金制度です。これまでに支援した奨学生は、累計3,649人（2024年6月時点）にのぼり、奨学金給付額は累計で21億円を超えています。</p>
My Special Aflac Duck®	<p>さまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために、米国で開発されたアヒル型ロボットで、子どもたちに代わり感情を表現することができます。これまでに約1,624羽（2024年3月末時点）を小児がんの治療に取り組む病院等に寄贈しました。</p> 
ゴールドリボン運動	<p>2006年に企業としてはじめて「ゴールドリボン*運動」に賛同し、ウォーキングイベントや募金活動などを通じて、小児がんと闘う子どもたちへの理解促進や治癒率向上に向けた活動を支援しています。</p>  <p>*ゴールドリボンは小児がんへの支援を表すシンボルマークです</p>
アフラック クラシックチャリティー コンサート	<p>小児がんと闘う子どもたちやご家族を応援することを目的に開催し、コンサート会場では来場者が小児がんについて知り、理解を深めることができるよう、小児がんの子どもたちが制作した作品の展示などを行っています。</p>